

～世界最小レベルの極小細断を実現したシュレッダー「kiwami F6」の開発において～

第7回 ものづくり日本大賞 優秀賞受賞

株式会社サカエ(代表取締役社長:松本弘一、本社:東京都港区、資本金:9,300万円)は、経済産業省が主催する第7回「ものづくり日本大賞」において、世界最小レベルの極小細断を実現した文書細断シュレッダーShred Gear「kiwami F6」の開発と製品シリーズ化に関して、代表取締役社長の松本弘一をはじめ7名の社員が「優秀賞」を受賞しました。「ものづくり日本大賞」において、シュレッダーの開発で受賞するのは、当社が初めてとなります。

受賞式は、2018年2月19日(月)に当社の東平井工場で開催され、受賞した7名に表彰状が授与されました。

なお、当社では、第6回ものづくり日本大賞(2015年)において、グリコヘモグロビン分析装置「A1c iGear」とその検査試薬の開発関係者が「特別賞」を受賞したのに続き、2度目の受賞となります。

◇受賞の概要

今回、開発・製品シリーズ化したシュレッダー「kiwami F6」は、世界最小レベルの0.7mm×3.5mmに極小細断するハイセキュリティなシュレッダーです。国際的な基準とされるドイツのDIN規格では、シュレッダーの細断寸法に応じて7段階のセキュリティレベルを設定しており、「kiwami F6」はもっとも高いセキュリティレベル7に相当します。近年、マイナンバー制度の導入や、改正個人情報保護法等により、機密書類など紙媒体のセキュリティ意識が高まっています。

当社では、2015年4月からハイセキュリティタイプのシュレッダーとして「kiwami」シリーズを発売し、機密書類を復元不可能なレベルまで極小細断できることから、市場より高い評価を頂いています。

今回の受賞は、「kiwami F6」が実現した世界最小レベルの極小細断技術が、時代のニーズに対応していることから受賞に結びついたものです。

当社は、今後も高いセキュリティ意識に対応したものづくりに取り組んでまいります。



第7回ものづくり日本大賞「製品・技術開発部門」優秀賞の
受賞対象となったShred Gear「kiwami F6」

◇ものづくり日本大賞について

内閣総理大臣表彰「ものづくり日本大賞」は、日本の産業・文化の発展を支え、豊かな国民生活の形成に大きく貢献してきたものづくりを着実に継承し、さらに発展させていくため、製造・生産現場の中核を担っている中堅人材や、伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材など、ものづくりの第一線で活躍する各世代のうち、特に優秀と認められる方々を顕彰する制度です。2005年より隔年で開催され、今年で7回目となります。

※経済産業省 HP より一部抜粋



第7回ものづくり日本大賞「製品・技術開発部門」優秀賞の受賞者
(※左から4番目は経済産業省 五十嵐様)

■本件に関するお問合せ先

株式会社サカエ 広報担当:総務部 西村
TEL:03-3571-3849